

(別紙様式1-2)

## 道徳教育地域支援委託事業実施計画書（平成29年度）

### 1 学校の概要

- (1) 学校名 三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校  
(2) 所在地 香川県三豊市山本町辻876番地  
(3) 学年別生徒数及び学級数、教員数 (平成29年2月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	特別支援学級	児童生徒数計	教員
4学級 108名	4学級 124名	4学級 125名	3学級 7名	364名	34名

### 2 研究主題等

- (1) 研究主題 なかまと共に育む豊かな心  
～道徳の時間を軸とした、こころの教育の推進～

#### (2) 研究主題設定の理由

平成26年度、なかまづくりをテーマとした、人権確立をめざした教育の実践研究を進め、なかまを温かく受け入れる状況が生まれた。平成27年度は、なかまづくりを道徳教育の広い視点から捉え直した。道徳教育推進プロジェクトを組織し、全教職員で取り組む道徳の時間の指導體制を整え、年間指導計画に沿った道徳の時間の学習をこれまで以上に充実させた。平成28年度は、道徳教育を学校教育全体の中で捉え直した。道徳を、各教科の学習や学級活動、総合的な学習の時間、学校行事等と効果的な組み合わせた総合単元化をして、教育効果を高めた。「発問」の工夫を中心とした授業改善にも努め、道徳の時間の質的な向上を図った。今後、平成31年度からの教科化に向け、「考え・議論する」道徳の授業をめざしたさらなる授業改善と、道徳の時間を軸とした総合単元化の充実を図り、こころの教育を推進しようと考えた。

#### (3) 研究内容及び方法

校内の「道徳教育推進プロジェクト」「学年団会」「職員会」を中心として次の研究を行う。その際、先進校視察も積極的に行き、その取り組みを学び本校の取り組みに生かす。

##### ① 「考え・議論する」道徳の時間

生徒が積極的に考え、ペアで、班で、学級全体で議論する道徳の時間への改善を図る。同時にこれまで実践してきた教材の選定や発問（場面発問、テーマ発問）、板書、ワークシートの選定、机間指導、TTでの指導等を、いろいろな角度から再検討し改善する。

##### ② 道徳の時間を軸とした総合単元化

指導効果を高めるために「道徳の時間」「総合的な学習の時間」「特別活動」「学校行事」などを関連させて総合単元化を図る。

##### ③ 評価の方法

生徒の意欲化につながる、ポートフォリオなどを活用した具体的な評価方法を探る。

### 3 成果の評価計画

- ワークシートや道徳ファイル、日々の生活記録などに書かれている生徒の意見や感想の変容を見る。
- 道徳に関するアンケート（生徒の意識調査）等を実施し、その結果を分析し、変容を見る。
- 毎学期末の職員による自己評価や生徒からの授業評価の結果を分析する。

### 4 研究成果の普及方法

- 学校ホームページやPTA新聞、学年・学級通信等に道徳に関する内容を盛り込み、保護者に発信する。
- 研究紀要を作成し、地区内（三豊市・観音寺市）の中学校に配布する。